

平成28年度 自己評価結果に対する学校関係者評価

学校名	北海道月形高等学校	外部評価委員会 (学校評議員会)
-----	-----------	---------------------

1 本年度の重点目標

- 1 自ら学び主体的に行動する意欲の育成を図る
- 2 礼節と勤労を尊び、逞しい心身の育成を図る
- 3 確かな学力の育成と進路目標の実現を図る

2 本年度の経営方針

保護者や地域から「選ばれ、満足される学校づくり」の推進
「生徒一人ひとりを大切に育て、それぞれが居場所を持ち、活躍できる場を提供できる学校を目指す」
基本事項
1 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する教育活動の実践
2 安全・安心で自分の良さを発揮できる学校づくり
重点事項
1 三年間を見通したキャリア教育を構築し、生徒に主体的に考え、社会でたくましく生きる力を身に付けさせる
2 生徒一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな心の育成する
3 学校の教育力の充実のため、教職員が協働意識を高め、経営参画意識をもつ
4 教職員がおのおのの資質向上のため、積極的に研修を行い、授業を改善し、本校生徒に合った評価方法を研究する

3 自己評価結果に対する外部評価(A:十分 B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分)

評価平均・・・A:4、B:3、C:2、D:1として平均値を算出

評 価・・・評価平均について、A:3.25以上、B:2.50～3.24、C:1.75～2.49、D:1.74以下(小数第3位四捨五入)

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価 の適切さ	改善に向 けた取組 の適切さ
学習指導	①教育課程は、生徒の実態に対応して編成されているか。	B	・朝読書は、効果的な朝読書にするため、年度当初に、全教職員と全校生徒に朝読書の意義と取り組み方法について周知を図り、引き続き、全体での取り組みを行う。 ・教育課程の編成は引き続き生徒の実態や当面する課題に対応して行うとともに、教員数の削減が見込まれるため、現実に即した教育課程の編成が急務である。 ・毎日の授業にしっかり参加するといふところから家庭学習を行うきっかけになっていくのではと考える。一層の効果を図るため、新たに個に応じた課題内容を取り入れ指導の充実に努める。 ・教科の枠を超えたTT授業は、効果的であった。引き続きTTの展開を設定し、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の向上を図る。 ・特別支援体制について、各学年にワーキンググループによる組織的に対応する。	A	A
	②年間学習指導は計画と実施のズレがチェックされているか。	A			
	③学習指導の改善のためシラバスの見直しが適切におこなわれているか。	A			
	④生徒の実態を考慮し、基礎・基本が確実に身につくよう適切な指導を行っているか。	A			
	⑤わかりやすい授業となるよう、授業内容が工夫されているか。	A			
	⑥授業規律の確立が図られているか。	B			
	⑦個々の生徒の学習状態を把握して、適切に評価しているか。	A			
	⑧総合的な学習の時間は、三年間を見通した内容になっているか。	B			
	⑨朝読書や家庭学習の充実により基礎学力の向上が図られているか。	B			
生徒指導	①生徒指導体制が全教職員の共通理解の下で推進できているか。	B	・共通理解を図るため、年度当初に指導体制、指導計画の明確化を図った。指導状況等について共有が不十分なところがあったため、分掌・学年の連携を密にし、情報共有を図り、指導の充実に務める。 ・生徒理解研修会を計画的に実施し、生徒の状況について共有することができた。教育相談・特別支援の研修を実施する。 ・生徒会執行部のリーダー育成のために、教育局や町教育委員会主催のリーダー研修会に積極的に参加した。 ・教育相談体制について、生徒が相談しやすいよう、各学年にワーキンググループの担当を置き組織的に対応する。 ・学年・サポート委員会と連携をとって、不登校生徒の指導を行う。	A	A
	②地域の関係機関と連携できているか。	A			
	③教育相談や個人面接の機会を積極的に設けているか。	A			
	④基本的生活習慣や集団生活の決まりが身につくよう、きめ細かな指導ができているか。	A			
	⑤いじめや非行、問題行動の早期発見と、その予防対策が日常生活の中で行われているか。	A			
	⑥学校行事は、生徒が自発的に活動できるよう工夫されているか。	A			
	⑦ホームルーム指導計画は、教科指導や他の特別活動との関連を考慮した指導計画であるか。	A			
	⑧部活動に対し、生徒が主体的に参加できるよう指導されているか。	B			
	⑨生徒会活動が、生徒の自主的活動となるよう、全教職員の協力体制ができているか。	A			

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
進路指導	①進路指導計画の内容が、生徒の実態に対応できているか。	A	・各学年で取り組んだ内容や資料をサーバー内のフォルダにまとめて使いやすくする。また、「進路のしおり」の有効活用を工夫する。 ・進路指導部通信を発行し、進路情報の提供に努めた。今後も情報提供を充実させ、個々の進路実現に尽力する。 ・本校のキャリア教育について、進路指導部の課題として、今後、三年間を見通した具体的な方針や取り組み方法について充実させる。 ・進学指導の充実に向けて講習を計画的に行うことができた。講習等の一層の効率化について検討する。	A	A
	②進路指導計画が、ホームルームの指導の中で具現化されているか。	A			
	③生徒や保護者との話し合いを密にし、進路決定のための相談活動が適切に行われているか。	A			
	④講習や模擬試験の指導など希望実現への援助活動はなされているか。	A			
	⑤望ましい勤労観や職業観を育て、自己理解を促す指導は適切に行われているか。	A			
	⑥外部機関とのネットワークを広げ、相互の情報の共有が適切に行われているか。	A			
健康安全指導	①交通安全をはじめ、安全意識を高める指導は行われているか。	A	・避難訓練は、防災に係る訓練を2回実施した。防犯を踏まえた避難訓練について、関係機関に相談できたが実施には至らなかった。早い時期に関係機関と連携し、防犯に係る避難訓練を検討する。 ・業務継続計画BCPを含む防火防災計画を作成し、校内研修を実施することができた。今後も全員に周知を図り危機管理体制を充実させる。	A	A
	②安全確保のための環境整備や点検は行われているか。	A			
	③防災関係の規程や非常事態発生時の対処要領が、職員や生徒に周知されているか。	B			
	④危機に対する管理体制が充分なされているか。	B			
	⑤健康安全に対する計画的・継続的な指導はなされているか。	A			
	⑥校舎内外の清掃・美化活動は計画的に行われているか。	A			
	⑦生徒の環境美化に対する意識を高める指導は行われているか。	A			
組織運営	①教育活動全般において、教育目標の具現化が図られているか。	A	・保護者アンケートと教職員の自己評価の評価結果を十分に検証し、組織運営の充実に努める。 ・全教職員が当事者意識をもち、協働体制のもと、機動的な学校運営を図る。	A	A
	②生徒や保護者に対して、教育目標等の周知を図っているか。	B			
	③組織の協力体制が整い、機動的に学校運営がなされているか。	B			
	④教職員が学校運営に対して、積極的に参画できているか。	A			
	⑤教職員相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場のムードづくりができているか。	B			
	⑥教職員の健康管理や福利厚生に対して、配慮されているか。	B			
	⑦職員会議や打合せ等が適切に行われ、会議の機能が活かされているか。	A			
	⑧法令遵守と服務規律が守られ、説明責任がなされているか。	A			
研修	①校内研修会の時期、実施内容は適切であるか。	A	・校内研修会を年間計画に位置づけ、効果的に実施することができた。授業改善に向け、学校内外の研修を充実させる。 ・校外研修の成果は、研修報告や資料回覧等をおして相互に成果を共有することができた。	A	A
	②各種研修・研究会へは積極的に参加し、生徒に還元されているか。	A			
	③分掌や教科部会内の研修は工夫されているか。	B			
保護者、地域住民等との連携	①家庭訪問の実施等、家庭・保護者との連携協力はできているか。	A	・保護者と連絡が取れず苦慮することがあった。保護者に連携協力を依頼する。 ・町内小中学校との連絡・連携を積極的に行う。 ・より一層地域との連携を深め、ボランティア活動等への参加を積極的にすすめる。	A	A
	②PTA行事の充実や研修会等、PTA活動は活発であるか。	A			
	③中学校や地域の関係機関との連絡・連携はなされているか。	A			
	④授業公開日の実施時期や公開内容は工夫されているか。	A			
	⑤地域へのボランティア活動等の参加はなされたか。	A			
研究指定事業	①研究指定事業の実施内容は適切であるか。	A	・3年間の研究指定事業の2年目に於いて、年間を通した行事の見直し等を行い、来年度の完成に向けて検討を行った。	A	A
	②キャリア教育に向けての教育活動等は工夫されているか。	A			
施設・設備	①施設・設備の維持管理、教育活動に適した整備及び補充がなされているか。	B	・今後とも教育環境の整備に努める。	A	A